

伊勢湾貧酸素情報（第6報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

これまで、伊勢湾の底層に広く形成されていた2 mg/L以下の貧酸素水塊は消滅しました。今期については、今後、大規模な貧酸素水塊の発生はないものと考えられます。

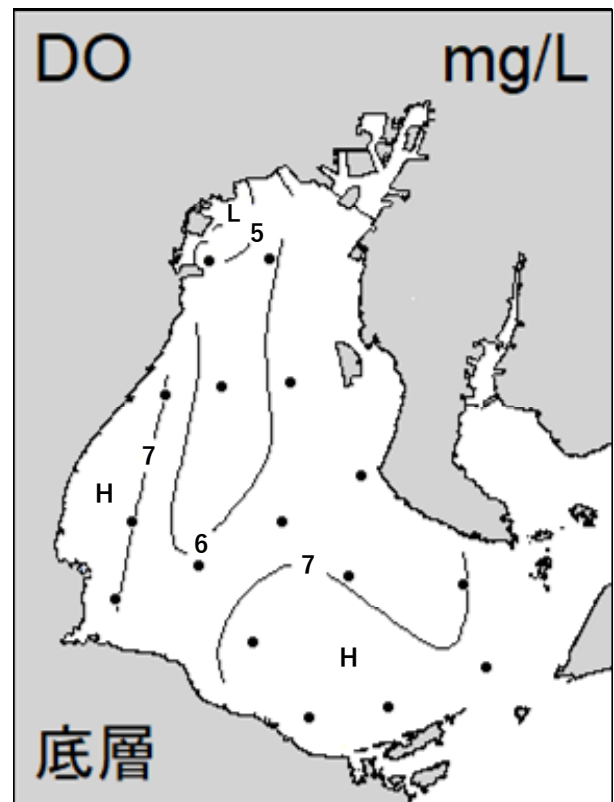
11月17日の調査結果

11月17日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で17.6～19.8℃、10mで17.9～19.8℃、底層で18.1～20.6℃の範囲にあり、表層、10m及び底層は平年並みとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で7.2～9.5 mg/L、10mで6.5～8.1 mg/L、底層で5.4～7.5 mg/Lの範囲にあり、表層、10m及び底層は平年並となっていました。

6月の観測時（6月2日）以来、伊勢湾の底層に広く形成されていた2 mg/L以下の貧酸素水塊は消滅していました。

伊勢湾では、海水の上下混合がおこりやすい時期を迎えており、今期については、今後、大規模な貧酸素水塊の発生はないものと考えられます。



底層貧酸素水塊分布図